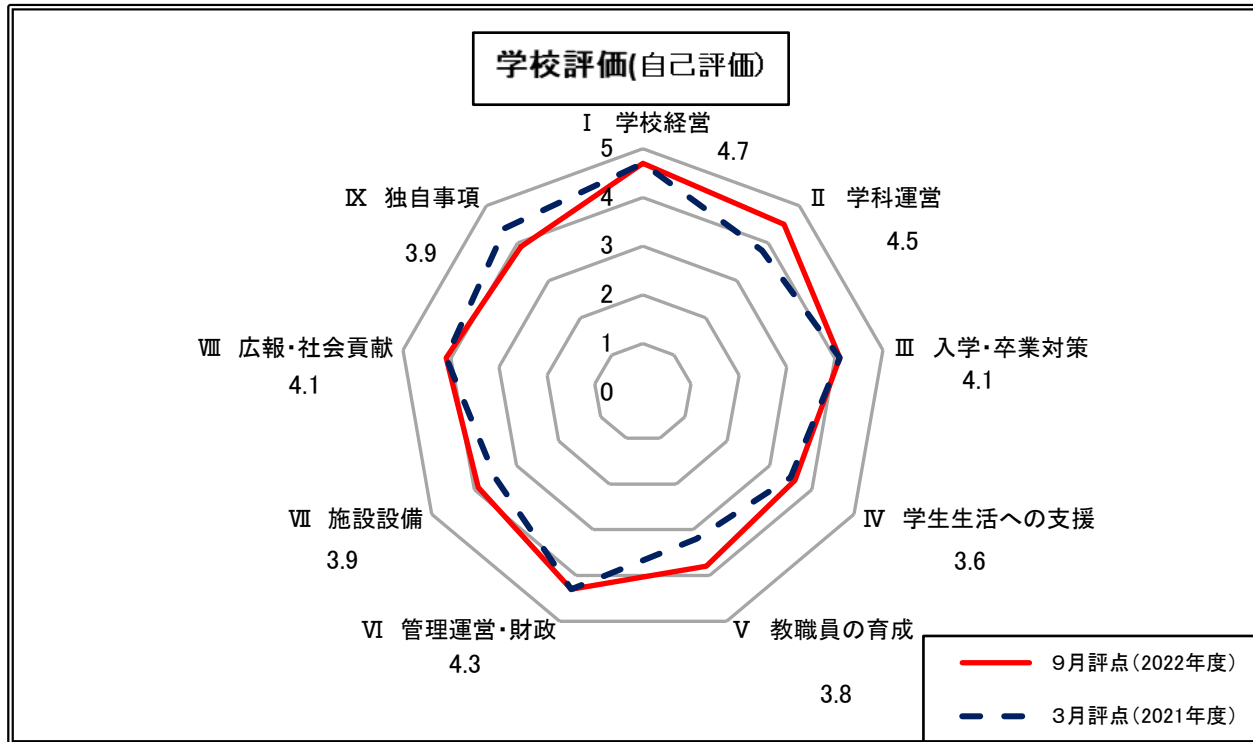


## 令和4年度 学校運営評価(中間自己評価)結果

本校は教育の質の向上とより良い学校運営をめざして、教員による「学校評価」を実施しています。

今年度は評価項目を見直し、9領域42項目について、9月、3月に5段階評価（良い「5点」、やや良い「4点」、普通「3点」、やや不十分「2点」、不十分「1点」）を行い、カテゴリーごとの平均点を表しました。



### 結果

全体の平均点は、4.1点であり「ややよい」であり、すべてのカテゴリーが普通以上です。

【I 学校運営】組織目標・年間運営計画に基づき委員会・係活動に取り組んでいます。中間評価結果を下半期の学校運営に活かしていきます。

【II 学科運営】上半期はほぼ予定通りに新・旧カリキュラムが運用できました。教員間、外部講師、実習施設との連携を図り、より良い教育になるよう努めています。課題である時間割の早期計画と学生への早期提示が行えました。

【III 入学・卒業生対策】ホームページを適時更新し、学校の様子や最新の情報を伝え、入学生・卒業生に対して情報提供しています。入学生確保のために、春季・夏季休業中に「学校見学会・学校説明会」を開催しました。下半期には「卒業生と語る会」や「卒業生交流会」を計画しています。質の高い卒業生の輩出と国家試験の合格率100%を目指し、学生の学修支援をしています。

【IV 学生生活への支援】在校生に対しては担任・副担任を中心に個別面談等を設け支援しています。カウンセラーによるカウンセリング「心の相談室」の運営方法について見直し、下半期はカウンセラーの介入回数を増やし支援していきます。学生の声を大切にし、学習支援や経済的支援を要する学生に対して、教職員で情報を共有し支援につなげます。

【V 教職員の育成】職員会議・教務会議の場で、参加した研修の伝達講習会を開催し、学びの共有を行っています。また、新カリキュラムの新たな実習施設において臨地研修を行い、教育内容・方法の検討に取り組んでいます。教員間の授業参観、授業研究が計画どおりすすみ、教員としてのやりがいを高められるよう取り組んでいます。

【VI 管理運営・財政】適正な予算と進行管理が行えています。災害などの非常時の危機管理体制や防災・防犯訓練が行えました。現在、学生への緊急連絡方法について検討を重ねています。学生の個人情報保護を前提に、必要な情報を確実に伝達できるよう、職員間で検討した方法について取り組みます。

【VII 施設設備】計画的な施設・設備の整備が行えています。令和5年度のトイレ改修工事等に向け、工業者との打ち合わせを進めています。また、新カリキュラムに伴う教材・図書の購入についても、教職員の意見を反映しすすめています。ICT機器の活用機会が増え、マニュアル整備も進んでいます。今後はマニュアルの有効活用と評価が課題です。

【VIII 広報・社会貢献・地域活動】ホームページ以外に、下呂市・下呂社会福祉協議会と連携し、広報活動やボランティア活動に取り組んでいます。学生自治会による地域清掃活動も定期的に行っています。

【IX 独自項目】新型コロナウイルス感染症による感染予防対策の継続と施設・設備の整備に取り組み、学業に専念できるような環境を整えています。9月に寄宿舎の防災訓練を予定していましたが、台風の接近により延期となったため、下半期に実施する予定です。寄宿舎生の自主性を尊重しながら、寄宿舎運営の支援を継続します。